

事務 事業名	コード1	1905	中学校施設改修事業	課	庶務課		
	コード2			所属班	施設班		
				<input checked="" type="checkbox"/> 主要事業	電話番号	(55)5722	内線
政策 体系	基本方針	4	心豊かな人と文化を育むまちづくり	予算	会計		
	施策	2	学校教育の充実	科目	一般会計		
	施策の展開	4	学校施設の整備	根拠	学校教育法、中学校設置基準		
	基本事業	228	大規模改修・耐震補強工事	法令	中学校施設整備指針		
款					10	03	01

1 現状把握(Do)

(1)事業概要

① 事業期間	② 事業の内容 ※何をどのようにする事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳  <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで ※全体像を記述⇒	○学校施設は長期使用による老朽化や機能低下及び自然災害等による被災等などのため、緊急工事も含めた改修工事が必要となる。また、生徒数の増減や教育内容の改訂に伴い既存の施設を改修する必要性が生じる場合もある。当事務事業ではこれらの学校施設整備のうち小・中規模程度の中学校における改修事業を行う。 ○中学校施設とは校舎・体育館等の建築物、電気・水道等の設備機械・機器、陸上運動場・野球場等、自転車置場・プール・門扉・フェンス等の工作物  ○学校が提出する次年度の改修要望箇所を基礎にして、学校及び市職員による点検等を行う。改修が必要と判断された箇所については、専門業者の意見を求め施工方法を検討して、適正な補修・改修工事を実施する。

(2)トータルコスト

① 事業費の内訳(費目等)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
維持補修費 ※参考 H22事業概要	千円		40,102				
校舎等改修費 第一中、第二中において地域活性化・経済危機対策臨時交付金事業(自転車置場改築工事等)を実施した。	千円						
② 延べ業務時間の内訳	千円	11,067	12,889	23,853	24,050		
1.現地調査 5.工事検査業務	千円	11,067	52,991	23,853	24,050	0	0
2.業者打合せ 6.支出し業務	人	0.30	0.48	0.36	0.36		
3.設計契約事務	時間	600	960	720	720		
4.工事監督業務(立会い等)	千円	2,280	3,648	2,736	2,736	0	0
トータルコスト(A)+(B)	千円	13,347	56,639	26,589	26,786	0	0

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	⑤ 活動指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	23年度実績(23年度に行った主な活動) ・各中学校関連施設の維持補修・改修工事(実施件数70件)	ア 施設維持補修・改修件数	件	29	38	70	45		
	24年度計画(24年度に計画している主な活動) ・各中学校関連施設の維持補修・改修工事を予定。	イ 工事費	千円	11,067	52,991	23,853	24,050		
目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	⑥ 対象指標名	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	校舎・屋内運動場及び屋外運動場等の学校施設	ア 中学生生徒数	人	1,980	1,974	1,912	1,905		
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
学校施設の安全性が確保される 良好な教育環境が保持される	ア 生徒一人当たりの事業費 ( )	千円	5.6	26.8	12.5	12.6			
	イ 非構造部材点検結果のC判定(危険箇所)数	箇所	-	-	-				
上位目的	④ さらに、どんな上位目的に結び付けるのか	⑧ 上位成果指標名(考え方)	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	26年度(計画)
	生徒のバランスのとれた、知育・徳育・体育の向上を図る。	ア 出席率 ( )	%	97.8	98.1	98.3	-		
		イ							

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 開始したきっかけは何か?どんな経緯で始まったか?	② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか?開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったか?	③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
学校施設は、生徒が安全・安心な教育環境を享受できるように、また学校運営上の支障が生じないように維持管理されなければならないため、当初から必要となる事務事業である。	学校施設のバリアフリー化、エコスクール化、防災機能の強化などが求められるようになった。補助事業においては一部事業の下限額の引下げなどの採択基準の緩和措置が図られている。適正な管理を行うことで、施設の延命化が図られている。	非構造部材の耐震化を求める意見がある。学校からは老朽化施設の改修や災害時の避難場所としての機能拡充の要望がある。

事務事業名	中学校施設改修事業	課名	庶務課	班名	施設班
-------	-----------	----	-----	----	-----

## 2 評価(Check1)担当者による事後評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが上位目的に結びついているか？ ○旭市総合計画に記載されている「安全な教育環境を維持していくため、老朽化・耐震化対策を推進する」に結びつく事業であるため政策体系の整合性に問題はない。
	② 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ ○対象は学校施設であるため適切である。
	③ 行政関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して実施すべきか？ ○学校設置者は、その設置する学校を管理し経費を負担する(学校教育法) 必要があり、また、設置者は施設、設備の水準の向上を図ることに努めなければならない(中学校設置基準)
	④ 成果の現状水準	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ あるべき水準や目標に達しているか？近隣市や類似団体と比較してどうか？ ○学校施設の安全性、良好な教育環境の保持については、妥当な水準である。しかし、大震災後にクローズアップされている非構造部材の耐震化をいかに推進するかは今後の課題である。
有効性 評価	⑤ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 活動量を増やせば成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やさなくても、やり方を工夫することで成果は向上する ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 活動量を増やしたり、活動を工夫したりしても、今以上成果は向上しない ⇒【理由】↷ 次年度以降の成果向上が期待できるか？事務事業を取り巻く環境変化等を考慮するかどうか？ ○学校施設に求められる必要最小限の事業を実施しているが、活動量が増えればエコ化やバリアフリー化などの学校機能を充実・拡大させることが可能となり、また安全対策面では非構造部材の耐震化を進めるなどの成果の向上を期待できる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↳ (1) 事務事業名：( ) (2) <input type="checkbox"/> 統廃合ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 連携ができる ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 既に統廃合・連携している ⇒【理由】↷ <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 目的を達成するには、この事務事業の他(民間・国県を含む)に方法があるか？ ↓ 他に手段がある場合 (1) 具体的にはどのような事務事業か？ (2) 類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？ ○改築事業・大規模改造事業等とすみ分けを行い、当事務事業では小・中規模な維持補修・施設改修を計画的に実施している。しかし事業の性格上緊急な対処が求められることも多く学校施設の状況に精通した職員が必要となるため、他の方法・手段がない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
効率性 評価	⑦ 事業費の削減余地(表面トータルコストの事業費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 事業費を削減できないか？(経費の精査、過剰仕様の適正化、回数削減、住民の協力、アウトソーシングなど) ○当事業で行う学校施設の改修は工種が多岐に渡るほか、小規模な工事や緊急工事も多く経費の削減は難しいが、学校によっては、軽微な補修等について、教職員等で補修したり、PTAも賛同した奉仕作業等を実施している。
	⑧ 人件費の削減余地(表面トータルコストの人件費部分)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ やり方の工夫(業務プロセスの改善など)や臨時職員の活用・委託により、正規職員の延べ業務時間を削減できないか？ ○契約等については、工種や施工箇所が多様であり、緊急性が求められる場合もあるため一括発注には馴染まない。また施工時には学校や建設業者との協議等も必要で、正規職員の対応が必須であり、臨時職員の活用・委託には適さない。
公平性 評価	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ ○義務教育施設であるため、公平・公正である。

## 3 評価(Check2)担当課長による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・限られた予算の中で、生徒の安心・安全を第一に考え、事業の優先度を決定し効率的な事業を行っている。

## 4 今後の方向性(事務事業担当課案)(Plan)

(1) 今後の事業の方向性(複数選択可)	※2~3年後を目処にした方向性	(3) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																					
<input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善による成果向上 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による事業費削減 <input type="checkbox"/> 受益機会の適正化 <input type="checkbox"/> 廃止・休止	<input type="checkbox"/> 行政関与の見直し <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携(関連事業： ) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善による延べ業務時間削減 <input type="checkbox"/> 費用負担の適正化																						
(2) 改革改善案について	※いつまでに、なにを、どうするのか？	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上			○	維持				低下			
					コスト																		
		削減	維持	増加																			
成果	向上			○																			
	維持																						
	低下																						
(4) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
① 予算措置の問題、財政課と協議し事業計画を策定し、国庫補助事業の採択を目指していく。																							
②																							
③																							
④																							